

令和 7 年度 川口市立美術館 事業報告書

1 概要

(1) 事業名

「開館プレ事業 市民とつくる渡り鳥アートプロジェクト」

(2) 会期、開催時間、参加者数

| 開催場所 | 会期 | 参加者数 | 目標数 |
|-------------------------------------------------------|-----------|------|-----|
| 川口市立映像・情報メディアセンター メディアセブン | 9月14日(日) | 65人 | 50人 |
| イオンモール川口 1階 ネットトヨタ東埼玉(株) michinowa | 9月27日(土) | 50人 | 50人 |
| | 9月28日(日) | 52人 | 50人 |
| イオンモール川口前川 1階 ノースコート | 10月4日(土) | | |
| | 10月5日(日) | | |
| 川口市市産品フェア 2025 (オートレース場) | 10月24日(金) | | |
| | 10月25日(土) | | |
| | 10月26日(日) | | |
| 御成道追い風不動地蔵院 トワイライ トキャンドルズ 2025 (真言宗智山派 筥崎山 地蔵院) | 11月16日(日) | | |
| イオンモール川口 1階 センターコート | 12月6日(土) | | |
| | 12月7日(日) | | |

(3) 参加費 無料

2 目的等

(1) 目的

- ・川口市立美術館の開館（2026年）に向け、市民の関心と期待を高める。
- ・市民が主体的に関わるアートプロジェクトを通じ、美術館を「ともに創る文化活動の場」として認知してもらう。
- ・市内の自然環境や地域資源（布・端材など）に目を向け、持続可能な社会づくりへの意識を醸成する。

(2) ねらい

- ①市民や子どもがアート体験を通して「ものづくりの楽しさ」や「表現する喜び」を感じる場を提供する。
- ②地域の作家・企業・市民・行政が協働することで、地域文化の連携基盤をつくる。
- ③渡り鳥をテーマに、川口の水辺や地球環境への関心を深める契機とする。
- ④美術館の開館に向けた広報・認知活動として、地域内外への情報発信を行う。

(3) 効果

- ・延べ数百点に及ぶ市民の作品が展示として結実し、「市民とともに創る美術館」という理念を可視化できる。
- ・子どもから大人まで幅広い層が参加し、美術館への親近感や参加意識が高まる。
- ・市内織物業者など地域企業と連携することで、地場産業への理解促進や資源循環の意識向上につながる。
- ・環境テーマのアート体験を通じて、地球環境や地域の自然保全に対する市民意識が向上する。
- ・ワークショップの巡回により、美術館の存在や理念が広く市内に浸透する。

(4) 課題・対策等

| No. | 課題 | 対策等 |
|-----|------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | ワークショップ開催場所や日程の調整、関係機関との連携に労力を要する。 | <ul style="list-style-type: none">・早期にスケジュールを策定し、関係機関（学校・商業施設・市民団体）との調整を段階的に実施する。・ボランティアや学生インターンを活用し、準備・設営・運営の負担を分散する。 |
| 2 | 美術館開館後も継続的に「市民とつくる」活動へ発展させる仕組みづくりが求められる。 | <ul style="list-style-type: none">・本事業のような市民との連携プロジェクトを開館後も市民協働型プログラムとして継承。・イベント参加者に対し、美術館開館後の活動紹介やボランティア募集の案内を行う機会として活用する。・「市民アートパートナー制度（仮称）」など、継続参加できる仕組みを制度化する。 |

